

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能									3.1	
Q-1 室内環境									3.1	
1 音環境									3.3	
1.1 騒音										
1 暗騒音レベル					建物を敷地中央付近に配置	4.0	0.40	3.0	1.00	3.0
2 機械騒音対策						4.0	1.00	3.0	1.00	3.0
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.50	3.0
2 界壁遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.30	3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	3.0
1.3 吸音										
						3.0	0.20	3.0	0.21	3.0
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温設定						3.5	0.50	3.0	0.50	2.8
2 緩衝容量・過渡制御性						3.0	0.30	3.0	0.60	3.0
3 外皮性能					W	3.0	0.20	3.0	0.40	3.0
4 ゾーン別制御性						4.0	0.50	-	-	3.0
5 温度・湿度制御						-	-	-	-	3.0
6 個別制御						-	-	-	-	3.0
7 時間・空間・気候に対する配慮						-	-	-	-	3.0
8 監視システム						-	-	-	-	3.0
2.2 湿度制御										
						1.0	0.20	1.0	0.20	3.0
2.3 空調方式										
						3.0	0.30	3.0	0.30	3.0
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率						3.0	0.30	3.0	0.30	3.0
2 方位別開口						3.0	0.60	3.0	0.60	3.0
3 昼光利用設備					W	3.0	0.40	3.0	0.40	3.0
3.2 グレア対策										
1 照明器具のグレア						3.0	0.30	3.0	0.30	3.0
2 昼光制御					W	-	-	-	-	3.0
3 照度						3.0	1.00	3.0	1.00	3.0
1 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	3.0
2 照度均斉度						3.0	1.00	3.0	1.00	3.0
3.4 照明制御										
						3.0	0.25	3.0	0.25	3.0
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学物質汚染					主にF☆☆☆☆の建築材料を使用	4.0	0.50	3.0	0.63	3.7
2 化学物質対策						4.0	1.00	3.0	1.00	3.0
3 VOC対策						-	-	-	-	3.0
4 放射線対策						-	-	-	-	3.0
4.2 換気										
1 換気量						3.0	0.30	3.0	0.38	3.3
2 自然換気性能						3.0	0.50	3.0	0.33	3.0
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	3.0
4 換気計画						-	-	-	-	3.0
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視						5.0	0.20	-	-	3.0
2 喫煙の制御					敷地内禁煙	5.0	1.00	-	-	3.0
Q-2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性						2.6	0.40	3.0	1.00	2.6
2 高度情報通信設備対応						1.0	0.60	3.0	0.60	3.0
3 バリアフリー計画						4.0	-	3.0	0.50	3.0
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観						1.0	1.00	-	-	3.0
2 リフレッシュスペース						5.0	0.40	3.0	0.40	3.0
3 内装計画					淡い色彩の落ち着いた内装環境	3.0	-	3.0	0.50	3.0
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性						3.0	0.48	-	-	3.0
2 免震・制振性能						3.0	0.80	-	-	3.0
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W	3.0	0.20	-	-	3.0
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W	3.0	0.12	-	-	3.0
3 配管・配線材の更新必要間隔					W	3.0	0.29	-	-	3.0
4 主要設備機器の更新必要間隔					W	3.0	0.29	-	-	3.0
2.3 適切な更新										
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新						-	-	-	-	3.0
2 配管・配線材の更新						-	-	-	-	3.0
3 主要設備機器の更新						-	-	-	-	3.0
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備						3.0	0.19	-	-	3.0
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	3.0
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	3.0
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	3.0
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	3.0

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					2.6	0.29	2.4	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり							1.8	0.50	
1 階高のゆとり					3.0	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.6	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性					2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.6
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.40	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		自然環境との調和に配慮し暖かみのある落ち着いた外壁色彩	4.0	0.20	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.0	0.40	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	日中外部庭園を開放する	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		敷地内建物の離隔距離を大きくし、風道を確保	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.30	-	-	2.9
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W				3.0	0.30	-	-	3.0
4 効率的運用					3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W			中央監視データを元に建物管理者が維持管理	4.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					2.7	0.65	-	-	2.7
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤は使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				広告塔は設けない	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.40	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				出入口を2か所計画、敷地内に十分な量の駐車スペースの確保	5.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	
■ LR-1 用途別得点表					ホテル	-	-	-	面積按分
					2,084 m ²	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制					3.0	-	-	-	3.0
3 設備システムの					-	-	-	-	3
高効率化					3.0	-	-	-	
						-	-	-	
3.1 空調設備					-	-	-	-	
3.2 換気設備					-	-	-	-	
3.3 照明設備					3.0	-	-	-	
3.4 給湯設備					-	-	-	-	
3.5 昇降機設備					3.0	-	-	-	